

なぜ杭州は中国AI産業の 中心地になったのか？

2026

8/27 日

14:00-15:30

無料オンライン開催
(Zoom)

講師紹介



アジア成長研究所 所長/教授
戴 二彪 (DAI, Erbiao)

1997年に京都大学で経済学博士号を取得。1997年以降、国際東アジア研究センター（2014年にアジア成長研究所へ改称）に勤務し、主任研究員、教授、研究部長、副所長を経て、2022年に所長に就任。主な研究分野は、アジア経済、都市・地域の経済成長、グローバル化時代の人口・資本の国際移動とその影響。九州大学大学院経済学府客員教授（2012年～）、北九州市立大学大学院特任教授（2010年～）を兼任。

公益財団法人アジア成長研究所

Tel: 093-583-6202

Email: office@agi.or.jp

〒803-0814

北九州市小倉北区大手町11-4

www.agi.or.jp



報告概要

使用言語：講演・資料ともに日本語

近年、AI分野において中国は急速に米国を追い上げており、米中二強の構図が鮮明になっている。こうした世界的なAI競争のなかで、中国のAI産業を牽引している都市が、名門大学や国立研究機関が集中する北京・上海でも、ICT産業が高度に集積する深圳でもなく、民営経済の発達した浙江省の省都・杭州市である。生成AIやフィジカルAI（Physical AI）の分野で、世界トップレベルの技術・製品を生み出した中国企業の多くが杭州から誕生している。なぜ杭州からこのような企業が相次いで誕生しているのかは、国際的にも注目されている。

本報告では、まず中国各地域におけるAI産業の発展状況を比較し、杭州の突出した地位を確認する。そのうえで、スタートアップ企業の成長を支えるエコシステム（startup ecosystem）の分析枠組みに基づき、①地域文化・企業家精神、②ベンチャーキャピタル（VC）・投資家、③大企業、④産業基盤、⑤大学・研究機関、⑥人材、⑦政府の政策・支援などの要因が、杭州のAI産業の発展にどのような役割を果たしてきたのかを検討する。

最後に、杭州のAI産業発展を支えてきた主要な要因を整理し、いわゆる「杭州モデル」が他の都市のAI産業発展に対してどのような示唆を与えるのかについて考察する。

お申し込み



メールでのお申し込みは、お名前とご所属を
office@agi.or.jpに送信してください。

締め切り：8月26日(水) 13時

前日までにご参加用のZoomリンクを
メールでお送りします。